



鳥取県中小企業団体中央会

SDGs 宣言

鳥取県中小企業団体中央会は、昭和30年11月に発足して以来、中小企業組合等連携組織支援機関並びに経営革新等認定支援機関として、県下中小企業の振興発展に寄与しております。

当会は、中小企業組合の相互扶助の理念のもと、組織の持続可能性を高め、付加価値を創造するため支援機能を強化していくとともに、持続可能な開発目標(SDGs)を目指す社会の実現に努めていくことを宣言します。

令和4年11月16日
鳥取県中小企業団体中央会
会長 谷口 譲二

3 すべての人に健康と福祉を



会員組合及び組合員への健康経営を促進し、中央会共済制度の普及、福利厚生に資する取り組みを行います。また、職員的能力を十分に発揮できる職場環境づくりを促進します。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



事務所内の照明不要時の消灯、アイドリングストップ、紙・プラスチック使用量削減など省エネに努めます。また、会員組合等に対する省エネ、再生エネルギーによるCO2削減、カーボンニュートラルへの対応等促進します。

8 働きがいも経済成長も



中小企業の組織化を図り、雇用創出を促進します。インターンシップ事業を通じた若者の雇用を積極的に促進するとともに、障がい者を含む全ての男性及び女性の生産的な雇用並びに同一労働同一賃金を達成します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



経営革新等認定支援機関として、鳥取県産業成長応援事業をはじめ各種補助事業を通じて、ものづくり・商業・サービスの生産性向上や持続可能な産業化の推進を図ります。

13 気候変動に具体的な対策を



自然災害等の発生による甚大な被害に備えるため事業継続計画(BCP)策定を事業化し推進することで、組合の事業継続及び早期復旧を支援するとともに、当会におけるBCPを策定しスムーズな業務遂行と組合支援の実現を図ります。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



相互扶助の精神に基づき協同して事業を行うことで経営上の諸問題を解決する事業協同組合等の設立を積極的に促し、経済活動及び経済的地位の向上を図ることができるよう支援します。